



地域づくりの支え手入門講座 第4回伊那市「子どもと地域」

「子どもと地域」を通しテーマとし、午前中は市民活動団体による事例、午後は学校が拠点となる事例と幅広い事例から、「原体験」で育つ子どもたちが大人になって取組に関わる人材の好循環という共通があることに気づくことができ、学びの多い講座でした。

公民館主事、社協職員、県職員、議員、子育て支援の活動家、シニアリーダーなど参加の顔ぶれが多彩であることで、多彩な視点からの振り返りができたことが新たな気づきにつながり、受講者同士のつながりづくりにもなりました。

受講者 36名（現地参加17名、後日YouTube視聴19名）

<研修内容>

現地コーディネーター 伊那市社会福祉協議会 新美亮介氏、中山咲子氏、浦山玲子氏

【現地研修Ⅰ】

「子どもたちの居場所づくりの取組に学ぶ」

講師 NPO法人フリーキッズ 宇津孝子氏、横山紀子氏

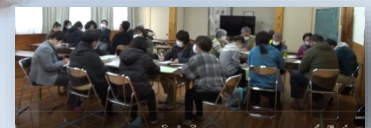


【現地研修Ⅱ】

「子どもたちの育ちに向けた、
地域と学校が連携した取組に学ぶ」

講師 長谷中学校教頭 有賀大氏

長谷学区支え合いの会 西村安司氏



<受講者アンケートから>

- 障がいを持つ子や自閉症の子などが安心して出かけることができる場は多くないと思うので、今後このような事例が増えると良い。（公民館職員）
- 「七世代先をみて」というのは今、私たちに必要な視点だと思います。宇津さん、横山さんとても素敵な笑顔でした。（諸団体）
- 心の豊かさ、人生の豊かさとは何なのか、考えるきっかけとなった。（県職員）
- 長谷の子どもたちを長谷の住民のみなさんが関わってはぐくむ…長谷に残りたい！という子どもを育てたい…そんな思いに共感しました。（諸団体）
- 長谷の方々への地域への思い、学校を中心に長谷は元気になっているのかなと思います。地域のなかで、たくさんのかたとかかわりながら育てられた子どもたちはやはりふるさとに愛着を持つようになると思います。（諸団体）